



2008年秋の交通安全運動期間内 JATMA「タイヤ点検結果」の報告

(社)日本自動車タイヤ協会(会長 三野哲治)は、都道府県警察・運輸支局、東日本・中日本・西日本の各高速道路株式会社(旧JH)、自動車及びタイヤ関連団体と協力し、2008年秋の交通安全運動期間内(9月21日~30日までの10日間)に全国で5回の路上タイヤ点検を実施し、このほどその結果をまとめましたので、ここに発表致します。

【タイヤ点検結果の概要】

タイヤ点検を行った車両は、高速道路(含、自動車専用道路)171台、一般道路84台の合計255台で、これらの車両のタイヤ整備状況は次の通りです。

なお、本タイヤ点検結果の概要及び2007年対比は、別表1~3に示しました。

1. タイヤの整備不良は30.6%

タイヤ点検の結果、表-1の通り、点検車両255台のうち、タイヤに整備不良があった車両は78台、不良率30.6%となっており、2007年秋の点検結果に比べ3.9ポイントの減少となっています。

なお、道路別にみると、高速道路のタイヤ整備不良率は40.9%で9.8ポイントの増加、一般道路では9.5%で65.5ポイントの減少という結果となっています。

表-1 タイヤ点検の概要

項目	年 2008年			参考(2007年)		
	高速道路	一般道路	合 計	高速道路	一般道路	合 計
点検回数(回)	4	1	5	4	1	5
点検車両A(台)	171	84	255	235	20	255
タイヤ整備不良車両B(台)	70	8	78	73	15	88
不良率B/A(%)	40.9	9.5	30.6	31.1	75.0	34.5
対前年増減	9.8	-65.5	-3.9	-	-	-

2. 不良項目別ワースト1位は「空気圧不適正」

タイヤの整備状況を項目別にみると表-2の通り、不良率1位は「空気圧不適正」で21.2%、次いで「タイヤ溝不足」3.9%「偏摩耗」3.1%の順となっています。

不良率を2007年秋の結果と比較すると、「タイヤ溝不足」が1.9ポイント増加、「釘・異物踏み」も僅かに増加となっているものの、「空気圧不適正」は3.9ポイント、「偏摩耗」は2.0ポイントそれぞれ減少しています。

また、道路別でみた不良率を2007年秋の結果と比較すると、高速道路では「偏摩耗」0.2ポイントの減少以外全ての項目で増加となっており、特に「空気圧不適正」は8.1ポイント増加しています。一方の一般道路では「タイヤ溝不足」3.6ポイント増加していますが、それ以外全ての項目では減少傾向を示し、「空気圧不適正」は61.4ポイント、「偏摩耗」は13.8ポイント減少しています。

表－2 道路別・タイヤ整備不良項目の内訳

区分 項目	2008年						対2007年増減		
	高速道路		一般道路		合 計		高速道路	一般道路	合 計
	件数	%	件数	%	件数	%			
タイヤ溝不足	7	4.1	3	3.6	10	3.9	2.0	3.6	1.9
偏摩耗	7	4.1	1	1.2	8	3.1	-0.2	-13.8	-2.0
外 傷	1	0.6	0	0.0	1	0.4	0.6	-5.0	0.0
釘・異物踏み	5	2.9	0	0.0	5	2.0	1.2	0.0	0.4
空気圧不適正	51	29.8	3	3.6	54	21.2	8.1	-61.4	-3.9
そ の 他	14	8.2	1	1.2	15	5.9	5.2	-8.8	3.5
計	85	—	8	—	93	—	—	—	—

注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良（項目）がある場合がある為、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。

注) 2. 「空気圧不適正」の件数は、空気圧不足と空気圧過多の合計である。

3. 車両グループ別ワースト1位は「貨物車」

タイヤの整備状況を車両グループ別にみると表－3の通り、不良率ワースト1位は「貨物車」33.3%（07年結果に比べ18.0ポイントの減少）、次いで「乗用車」の30.1%（同、1.7ポイント減少）と「貨物車」「乗用車」いずれの車種も減少となっており、「特種車」を含めた全体でも07年秋の結果に比べ3.9ポイント減少となっています。グループ別の整備状況としては、「乗用車グループ」で、小形乗用（5.7）、軽（8.50）それぞれ減少、また「貨物車グループ」でも、普通貨物(1)を除く全ての車種で減少となっています。

表－3 車種別・タイヤ整備不良台数の内訳

車 種	点検車両（台）	不良車両（台）	不良率（%）	対2007年増減
乗 用 車	普通乗合(2)	0	0	0.0
	普通乗用(3)	45	14	31.1
	小型乗用(5.7)	112	31	27.7
	軽(8.50)	26	10	38.5
小 計		183	55	30.1
貨 物 車	普通貨物(1)	9	3	33.3
	小型貨物(4)	48	18	37.5
	軽(6.40)	9	1	11.1
	小 計	66	22	33.3
特種(8)		6	1	16.7
合 計		255	78	30.6
注) () 内数字は、車種ナンバーを示す。				

4. 車両グループ別・項目別ワースト1位は乗用車・貨物車共「空気圧不適正」

車両グループ別・項目別ワースト1位は表-4の通り、乗用車・貨物車共に「空気圧不適正」となっており、不良率も「乗用車」20.2%「貨物車」25.8%となっています。

表-4 車種別・タイヤ整備不良項目の内訳

車種	項目	タイヤ溝不足		偏摩耗		外傷		釘・異物踏み		空気圧不適正		その他		合計
		件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	
乗用車	普通乗用(2)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
	普通乗用(3)	1	2.2	2	4.4	1	2.2	3	6.7	8	17.8	2	4.4	17
	小型乗用(5.7)	5	4.5	3	2.7	0	0.0	0	0.0	23	20.5	7	6.3	38
	軽(8.50)	1	3.8	1	3.8	0	0.0	2	7.7	6	23.1	1	3.8	11
	小計	7	3.8	6	3.3	1	0.5	5	2.7	37	20.2	10	5.5	66
貨物車	普通貨物(1)	2	22.2	1	11.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3
	小型貨物(4)	0	0.0	1	2.1	0	0.0	0	0.0	16	33.3	5	10.4	22
	軽(6.40)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	11.1	0	0.0	1
	小計	2	3.0	2	3.0	0	0.0	0	0.0	17	25.8	5	7.6	26
特種(8)		1	16.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1
合計		10	3.9	8	3.1	1	0.4	5	2.0	54	21.2	15	5.9	93

注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合がある為、タイヤ整備不良台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。

注) 2. 「空気圧不適正」の件数は、空気圧不足と空気圧過多の合計である。

【まとめ】

今回の結果をみると、「空気圧不適正」が07年結果に比べ3.9ポイント減少しているものの21.2%で整備不良率ワースト1位となっています。その他の項目では「タイヤ溝不足」が3.9%で1.9ポイント、「釘・異物踏み」が2.0%で0.4ポイントと、それぞれ増加となっていますが、「偏摩耗」は3.1%で2.0ポイント減少しています。

当会では今後も引き続き「4月8日タイヤの日」をはじめとした、年間を通してのタイヤ点検実施に加えタイヤ使用管理リーフレット配布等の安全啓発活動を展開していくこととしています。

本件に関するお問い合わせ先
技術環境部 検査事故防担当 : 大高、柴田
電話 03-3435-9092

1. 2008年 秋の全国交通安全運動路上タイヤ点検結果

社団法人 日本自動車タイヤ協会

点検項目	年別 道路別	2007年（秋）				2008年（秋）							
		高速道路	一般道路	計	高速道路		一般道路	計					
					対前年増減	対前年増減		対前年増減	対前年増減	対前年増減			
点検回数（回）		4	1	5	4	0	1	0	5	0	0		
点検車両A（台）		235	20	255	171	-64	84	64	255	0	0		
タイヤ整備不良車両B（台）		73	15	88	70	-3	8	-7	78	-10	-10		
不良率B/A（%）		31.1	75.0	34.5	40.9	9.8	9.5	-65.5	30.6	-3.9	-3.9		
件数・不良率	件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率	件数		
						% 増減		% 増減		% 增減			
タイヤ整備不良の内訳	タイヤ溝不足	5	2.1	0	0.0	5	2.0	7	4.1	2.0	10	3.9	1.9
	偏摩耗	10	4.3	3	15.0	13	5.1	7	4.1	-0.2	8	3.1	-2.0
	外傷（コードに達するもの）	0	0.0	1	5.0	1	0.4	1	0.6	0.6	1	0.4	0.0
	釘・異物踏み	4	1.7	0	0.0	4	1.6	5	2.9	1.2	5	2.0	0.4
	空気圧不適正	51	21.7	13	65.0	64	25.1	51	29.8	8.1	54	21.2	-3.9
	その他	7	3.0	2	10.0	6	2.4	14	8.2	5.2	15	5.9	3.5
	計	77	-	19	-	93	-	85	49.7	-	93	36.5	-

注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良（項目）がある場合がある為、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。

2. 不良率：「タイヤ整備不良車両台数又は不良項目件数」／「点検車両台数」 × 100

3. 高速道路とは自動車専用道路を含む。

4. 「空気圧不適正」の件数は、空気圧不足と空気圧過多の合計である。

(空気圧不足： 54件 空気圧過多： 0件)

2. 2008年 秋の全国交通安全運動路上タイヤ点検・車種別項目別結果

社団法人 日本自動車タイヤ協会

道路別	項目 車種No.	点検車両 (A)	タイヤ整備 不良車両 (B)	不良率 (%) (B/A)	タイヤ整備不良の項目内訳												計	
					タイヤ溝不足		偏摩耗		外傷 (コードに達するもの)		釘・異物踏み		空気圧不適正		その他			
					件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率		
道路別	普通乗合(2)	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
高速道路	普通乗用(3)	34	14	41.2	1	2.9	2	5.9	1	2.9	3	8.8	8	23.5	2	5.9	17	
	小型乗用(5.7)	84	29	34.5	5	6.0	3	3.6	0	0.0	0	0.0	21	25.0	7	8.3	36	
	軽(8.50)	12	9	75.0	1	8.3	1	8.3	0	0.0	2	16.7	5	41.7	1	8.3	10	
	計	130	52	40.0	7	5.4	6	4.6	1	0.8	5	3.8	34	26.2	10	7.7	63	
	普通貨物(1)	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
4回	小型貨物(4)	38	17	44.7	0	0.0	1	2.6	0	0.0	0	0.0	16	42.1	4	10.5	21	
	軽(6.40)	3	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	33.3	0	0.0	1	
	計	41	18	43.9	0	0.0	1	2.4	0	0.0	0	0.0	17	41.5	4	9.8	22	
	特種(8)	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	20.0	0	0.0	0	0.0	0	
回	合計	171	70	40.9	7	4.1	7	4.1	1	0.6	5	2.9	51	29.8	14	8.2	85	
一般道路	普通乗合(2)	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	普通乗用(3)	11	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	小型乗用(5.7)	28	2	7.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	7.1	0	0.0	2	
	軽(8.50)	14	1	7.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	7.1	0	0.0	1	
	計	53	3	5.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	5.7	0	0.0	3	
1回	普通貨物(1)	9	3	33.3	2	22.2	1	11.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	
	小型貨物(4)	10	1	10.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	10.0	1	
	軽(6.40)	6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	計	25	4	16.0	2	8.0	1	4.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	4.0	4	
特種(8)	6	1	16.7	1	16.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	1	
回	合計	84	8	9.5	3	3.6	1	1.2	0	0.0	0	0.0	3	3.6	1	1.2	8	
合計	普通乗合(2)	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	
	普通乗用(3)	45	14	31.1	1	2.2	2	4.4	1	2.2	3	6.7	8	17.8	2	4.4	17	
	小型乗用(5.7)	112	31	27.7	5	4.5	3	2.7	0	0.0	0	0.0	23	20.5	7	6.3	38	
	軽(8.50)	26	10	38.5	1	3.8	1	3.8	0	0.0	2	7.7	6	23.1	1	3.8	11	
	計	183	55	30.1	7	3.8	6	3.3	1	0.5	5	2.7	37	20.2	10	5.5	66	
5回	普通貨物(1)	9	3	33.3	2	22.2	1	11.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	
	小型貨物(4)	48	18	37.5	0	0.0	1	2.1	0	0.0	0	0.0	16	33.3	5	10.4	22	
	軽(6.40)	9	1	11.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	11.1	0	0.0	1	
	計	66	22	33.3	2	3.0	2	3.0	0	0.0	0	0.0	17	25.8	5	7.6	26	
特種(8)	6	1	16.7	1	16.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	1	
回	合計	255	78	30.6	10	3.9	8	3.1	1	0.4	5	2.0	54	21.2	15	5.9	93	

注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良（項目）がある場合がある為、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。

2. 不良率：「タイヤ整備不良車両台数又は不良項目件数」／「点検車両台数」×100

3. 高速道路とは自動車専用道路を含む。

4. 「空気圧不適正」の件数は、空気圧不足と空気圧過多の合計である。

(空気圧不足：54件 空気圧過多：0件)

3. 2007、2008年 秋の全国交通安全運動路上タイヤ点検不良項目別結果比較

社団法人 日本自動車タイヤ協会

道路別	項目 車種NO.	点検車両中の タイヤ整備不良			タイヤ整備不良の項目内訳																			
					タイヤ溝不足			偏摩耗			外傷 (コードに達するもの)			釘・異物踏み			空気圧不適正			その他				
		07年	08年	増減	07年	08年	増減	07年	08年	増減	07年	08年	増減	07年	08年	増減	07年	08年	増減	07年	08年	増減		
高速道路	乗用車	普通乗合(2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		普通乗用(3)	17.8	41.2	23.4	1.4	2.9	1.5	1.4	5.9	4.5	0.0	2.9	2.9	1.4	8.8	7.4	15.1	23.5	8.4	1.4	5.9	4.5	
		小型乗用(5.7)	35.8	34.5	-1.3	2.8	6.0	3.2	4.6	3.6	-1.0	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0	-2.8	22.9	25.0	2.1	4.6	8.3	3.7	
		軽(8.50)	25.0	75.0	50.0	0.0	8.3	8.3	6.3	8.3	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	12.5	41.7	29.2	6.3	8.3	2.0	
		計	28.3	40.0	11.7	2.0	5.4	3.4	3.5	4.6	1.1	0.0	0.8	0.8	2.0	3.8	1.8	19.2	26.2	7.0	3.5	7.7	4.2	
	貨物車	普通貨物(1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		小型貨物(4)	45.5	44.7	-0.8	3.0	0.0	-3.0	6.1	2.6	-3.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	36.4	42.1	5.7	0.0	10.5	10.5
		軽(6.40)	100.0	33.3	-66.7	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	-50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	33.3	-16.7	0.0	0.0	0.0	
		計	48.6	43.9	-4.7	2.9	0.0	-2.9	8.6	2.4	-6.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.1	41.5	4.4	0.0	9.8	9.8
		特種(8)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	合計		31.1	40.9	9.8	2.1	4.1	2.0	4.3	4.1	-0.2	0.0	0.6	0.6	1.7	2.9	1.2	21.7	29.8	8.1	3.0	8.2	5.2	
一般道路	乗用車	普通乗合(2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		普通乗用(3)	33.3	0.0	-33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	-33.3	0.0	0.0	0.0
		小型乗用(5.7)	75.0	7.1	-67.9	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	-12.5	12.5	0.0	-12.5	0.0	0.0	0.0	62.5	7.1	-55.4	0.0	0.0	0.0	
		軽(8.50)	100.0	7.1	-92.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	7.1	-92.9	20.0	0.0	-20.0	
		計	75.0	5.7	-69.3	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	-6.3	6.3	0.0	-6.3	0.0	0.0	0.0	68.8	5.7	-63.1	6.3	0.0	-6.3	
	貨物車	普通貨物(1)	0.0	33.3	33.3	0.0	22.2	22.2	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		小型貨物(4)	100.0	10.0	-90.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	-100.0	0.0	10.0	10.0	
		軽(6.40)	66.7	0.0	-66.7	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	-66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	-33.3	33.3	0.0	-33.3	
		計	75.0	16.0	-59.0	0.0	8.0	8.0	50.0	4.0	-46.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	-50.0	25.0	4.0	-21.0	
		特種(8)	0.0	16.7	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	合計		75.0	9.5	-65.5	0.0	3.6	3.6	15.0	1.2	-13.8	5.0	0.0	-5.0	0.0	0.0	0.0	65.0	3.6	-61.4	10.0	1.2	-8.8	
合計	乗用車	普通乗合(2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		普通乗用(3)	18.4	31.1	12.7	1.3	2.2	0.9	1.3	4.4	3.1	0.0	2.2	2.2	1.3	6.7	5.4	15.8	17.8	2.0	1.3	4.4	3.1	
		小型乗用(5.7)	38.5	27.7	-10.8	2.6	4.5	1.9	5.1	2.7	-2.4	0.9	0.0	-0.9	2.6	0.0	-2.6	25.6	20.5	-5.1	4.3	6.3	2.0	
		軽(8.50)	42.9	38.5	-4.4	0.0	3.8	3.8	4.8	3.8	-1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	7.7	33.3	23.1	-10.2	0.0	3.8	3.8	
		計	31.8	30.1	-1.7	1.9	3.8	1.9	3.7	3.3	-0.4	0.5	0.5	0.0	1.9	2.7	0.8	22.9	20.2	-2.7	2.8	5.5	2.7	
	貨物車	普通貨物(1)	0.0	33.3	33.3	0.0	22.2	22.2	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		小型貨物(4)	47.1	37.5	-9.6	2.9	0.0	-2.9	5.9	2.1	-3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	38.2	33.3	-4.9	0.0	10.4	10.4	
		軽(6.40)	80.0	11.1	-68.9	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0	-60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	11.1	-28.9	0.0	0.0	0.0	0.0	
		計	51.3	33.3	-18.0	2.6	3.0	0.4	12.8	3.0	-9.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	38.5	25.8	-12.7	0.0	7.6	7.6	
		特種(8)	0.0	16.7	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	合計		34.5	30.6	-3.9	2.0	3.9	1.9	5.1	3.1	-2.0	0.4	0.4	0.0	1.6	2.0	0.4	25.1	21.2	-3.9	2.4	5.9	3.5	

注)1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合がある為、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。

2. 不良率:「タイヤ整備不良車両台数又は不良項目件数」/「点検車両台数」×100

3. 高速道路とは自動車専用道路を含む。